



2022年1月1日

ユアサ商事株式会社
代表取締役社長 田村 博之

年頭所感

「つなぐ」価値創造で社会に貢献する

年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

2022年の日本経済は、民間企業による経済活動の本格化と政府による新たな経済対策によりGDPがコロナ前の水準に回復し、経済成長率も引き上げられるとの見通しです。ポストコロナの経済展望として全世界的に「デジタル」と「グリーン」が成長のキーワードとなっており、当社グループにおいてもこの潮流を見極め積極的に対応してまいります。

デジタルの分野では、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組みをさらに本格化させてまいります。当社グループは、2026年までにグループ・グローバル共通のデジタル基盤を確立し、データを起点にしたビジネスを推進するデジタル商社への変革を目指しております。グローバルで26,000社以上の取引先ネットワークからの情報と市場のデータを集約、活用することで、お取引先様のお役に立てる「コト売り」提案を推進してまいります。

環境の分野では、昨年サステナビリティ宣言で表明した「2030年度までの当社グループ全体のカーボンニュートラル化」に向け、グループ全体でCO2排出量の削減に努めます。また、サプライチェーン全体での環境負荷低減と気候変動への対応のため、お取引先様とともに再生可能エネルギーの普及やレジリエンス事業を拡大し、地球環境と経済成長に貢献してまいります。

当社は今年で創業356周年を迎えます。当社グループの社会における存在価値とは、人と人、人とモノ、人と情報・技術を「つなぐ」ことでお取引先様と新しい価値を創造してきたことにあると考えております。今後も、モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの各分野で「つなぐ」価値創造により社会に貢献してまいります。

新しい年がお取引先様にとって希望と幸福に満ちた素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。